



誰でも気軽に立ち寄れるようカフェスタイルで創業の敷居を下げた。同店舗のビジネス書3万冊も自由に閲覧できる



模造紙のセットしてある机(右)や本棚の背にはホワイトボード(左)を設置し、考えを書きだす工夫が随所に



プレゼンする高島宗一郎市長。(左から)末吉紀雄福岡商工会議所会頭や後藤太一FDC事務局長、橋田紘一九電工相談役らが駆け付けた



スタートアップカフェが  
入居する「TSUTAYA  
BOOKSTORE  
ENJIN」



チェルシーエグゼクティブ  
エグゼクティブ  
を務める  
グジュ  
ガン

# 国家戦略特区、 創業の拠点動き出す 官民での動きが加速

国家戦略特区決定を機に、福岡市では官民で連携した創業支援が加速している。

10月11日、市は創業支援の拠点となる「スタートアップカフェ」をツタヤブックストア天神(福岡市今泉1丁目)3階にオープンした。オープン前の説明会では、高島宗一郎市長自らがカフェのワンストップ開業機能や今後の展望をプレゼン。末吉紀雄福岡商工会議所会頭や橋田紘一(株)九電工相談役をはじめとする企業トップや教育機関関係者が駆け付け、期待の高さを伺わせた。

時を同じくして10月10日、ベンチャー企業支援の(株)アイ・ビー・ビー(同市天神2丁目、廣田稔社長)はワーキングスペース「アントレプラザアイ・ビー・ビー」天神ポイント」を同所に開設した。これまでに培ったネットワークを強みに、市の特定創業支援事業に認定された先輩起業家への相談サービスを展開している。

今後、官民学一体となった支援体制の拡充で、新規企業が既存企業の成長の起爆剤となり、経済を活性化し新規雇用を創出する。福岡から世界に羽ばたく企業の誕生はもうすぐだ。

(取材/阿部容子)



## アイ・ビー・ビー

(左から)浅井道雄 浅井公認会計士・税理士事務所代表、駒田浩良福岡市経済観光文化局 新産業・立地推進部部長、廣田稔アイ・ビー・ビー社長、前田隆トライアンド社長、堀内恭彦 弁護士法人堀内恭彦法律事務所代表によるテープカット



開所式には約70人の関係者が詰めかけた



同所に併設された相談ブース



フリーアドレスのワーキングスペース